

没後一五〇年記念

# 破天荒の浮世絵師 — 歌川国芳 —

《前期》愉快痛快奇々怪々

平成二十三年十一月十二日(土)～十二月四日(日)

《後期》元気もりもり勇氣りんりん

平成二十三年十二月六日(火)～十二月二十五日(日)

※前期後期で作品総入れ替えします。

〔開館時間〕午前九時三〇分から午後五時まで  
〔入館は午後四時三〇分まで〕

〔休館日〕毎週月曜日

〔観覧料〕一般：八〇〇(六四〇)円  
高大生：五〇〇(四〇〇)円

( ) 内は二〇名以上の団体料金

中学生以下、六五歳以上、障がい者手帳をお持ちの方は無料

〔主催〕郡山市立美術館／NHK福島放送局／NHKプラネット東北

〔監修〕真俊彦(国際浮世絵学会会員) 稲垣進一(国際浮世絵学会常任理事)

〔制作協力〕NHKプロモーション



1

怪



3

遊



2

遊



4

華



5

勇



6

爽



7

憧



わっちは歌川國芳。

平成の世では同い年の廣重の方が人気があるみてえだが、  
天保ではわっちの方が断然センターポジション、なんてな。それはそうと、ありがてえことに  
郡山市立美術館でわっちの展覧会をしてくれるんだ。それも二五〇点も出るんだぜ。前期と後期で総入れ  
替えしねえと間に合わねえんだから、おそれ入谷の鬼子母神だ。  
さてさて、前期のテーマは「怪」と「遊」。わっちの大得意な妖怪畫に猫や魚たちが大暴れの絵、どうでえ、  
愉快だろう。うちの猫たちは階段昇りながら、はたまた字を書きながらリフティングするんだぜ。名づけて  
「ねこなでジャパン」。えっ?平成にも似たような足技の得意な「ジャパン」がいるって?そいつは結構毛だ  
らけ猫はいだらけ、てね。  
後期は武者絵や芝居絵、役者絵と元気いっぱい、気持ちのいい絵をそろえた「勇」「華」「爽」に  
「憧」。水滸傳に忠臣蔵、おなじみのヒーローが大活躍だ。そうそう、わっちの「東都三ッ股の圖」に  
出てくる塔とそっくりな塔をおめえさん方造ってるそうじゃねえか。そりゃバクリじゃねえのか。違うか。  
あはは、違うか。  
ところでなあ皆の衆、今年はずらいことがあったけど、わっちの絵を見て大笑いして、  
元気を出してくんねえ。元気になっていい年をお迎えください。江戸の世から  
お祈りしておりやすよ。

〔前期出品〕

- 1 「怪」相馬の古内裏
- 2 「遊」流行猫の曲手まり
- 3 「遊」人をばかにした人だ

〔後期出品〕

- 4 「華」四代目中村歌右衛門の大星由良之助
- 5 「勇」通俗水滸傳豪傑百八人之一個  
早地忽律朱貴
- 6 「爽」山海愛度図会 づいたい
- 7 「憧」東都三ッ股の図

落合芳幾画  
歌川国芳死絵(部分)  
太田記念美術館所蔵  
前期出品